

販売店様・加工店様へのお願い

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直射日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨が掛からない様にご注意ください。
- ◆本商品は一般住宅、室内用クローゼットですので用途以外のご使用は避けてください。
- ◆サーチライト等の熱源を直接商品に当てないでください。
- ◆工事完了まで、ダンボールで扉、枠の表面の養生をしてください。
(直接、養生シート、クラフトテープ等粘着力のあるものを表面に貼らないでください。)

梱包形態

お願い 組立の前に部品の数や種類の確認をしてください。

梱包形態 3方枠

姿図		W:07	W:12	W:16	W:17	W:24	W:33
	上枠	1	1	1	1		
	縦枠	2	2		2	2	
	レール	2	2		2	2	
	枠組立ビス	4	4		4	4	
	枠取付ビス	12	13		14	15	
	レール取付ビス	4	8		12	16	
	ビス穴キャップ	10	10		10	10	
	ビス穴塞ぎシート	1	1		1	1	
	上用ピボット受	1	2		3	4	
	下用ピボット受	1	2		3	4	
	目隠し材	2	2		2	2	
	組立施工マニュアル	1	1		1	1	

姿図		W:07	W:12	W:16	W:17	W:24	W:33
	把手 (ビス付)	1 (2)		2 (4)		3 (6)	4 (8)
	(M4x35トラス)						
	ガイドローラー	4		8		12	16
	ガイドローラー打込みパイプ	1		1		1	1
	スパナ	1		1		1	1
	本体施工説明書	1		1		1	1

部品箱

下枠

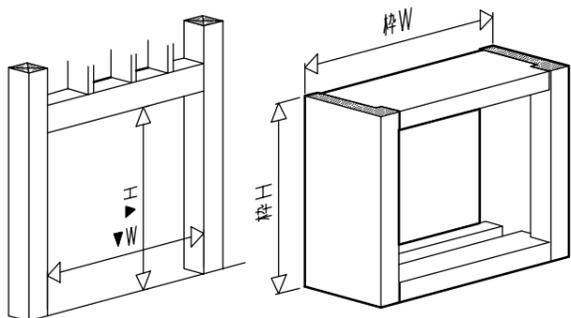
姿図		W:07	W:12	W:16	W:17	W:24	W:33
	下枠	1		1		1	1
	枠組立ビス	4		4		4	4
	枠取付ビス	2		3		4	5

本体

組立完成品

開口部の作り方

四方枠 (三方枠 + 下枠)

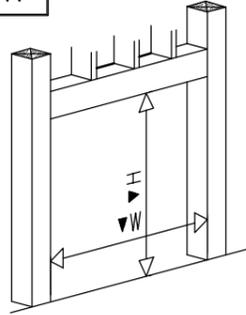


- ▼W寸法 = 枠W + 10
- ▼H寸法 = 枠H + 5
- ※対角寸法差のない様 躯体開口を設けてください。

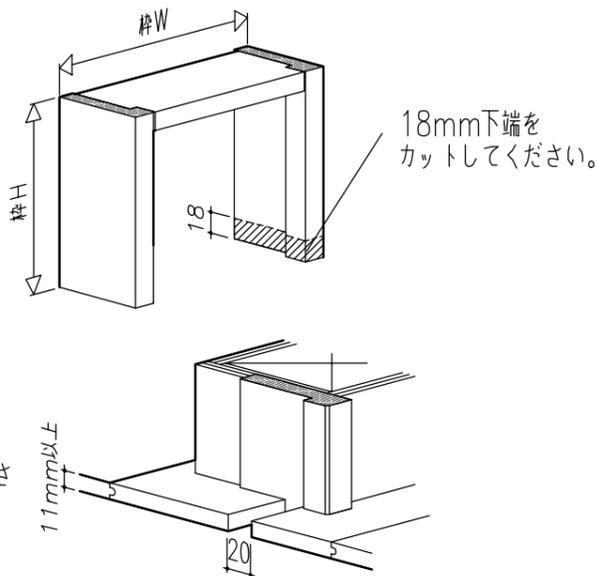
製品寸法 単位:mm

	W:07	W:12	W:16	W:17	W:24	W:33
枠 W	730	1190	1632	1680	2429	3226
	H:20	H:23				
枠 H	2040	2340				

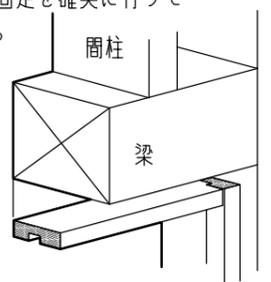
三方枠



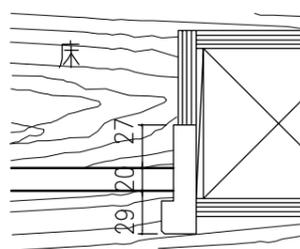
- ▼W寸法 = 枠W + 10
- ▼H寸法 = 枠H - 13 + フロア高さ



梁(鴨居)は扉の重量による上枠のタレを防ぐ為105□以上のものをご使用になり、間柱との固定を確実に行ってください。



フローア面に下レールを取付ける為の溝加工をしてください。
※溝深さ・・・11mm以上
溝巾・・・20mm以上
設けてください。

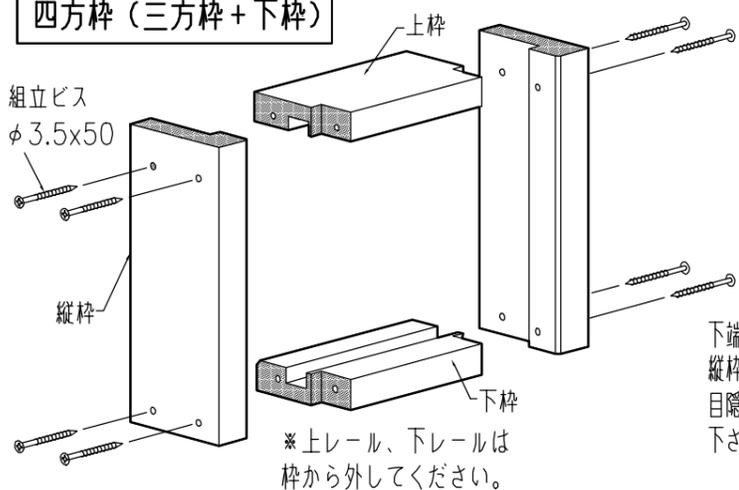


注意 上枠が垂れ下がると扉がフローアに当たり開閉が困難になり、フローアを傷つける原因になります。

枠の組立て

手順1

四方枠 (三方枠 + 下枠)



三方枠

三方枠で下枠を使用しない場合下枠の厚み分18mm下端をカットしてください。

下端をカットした後、縦枠下端に同梱の目隠し材を取付けて下さい。

枠の取付け

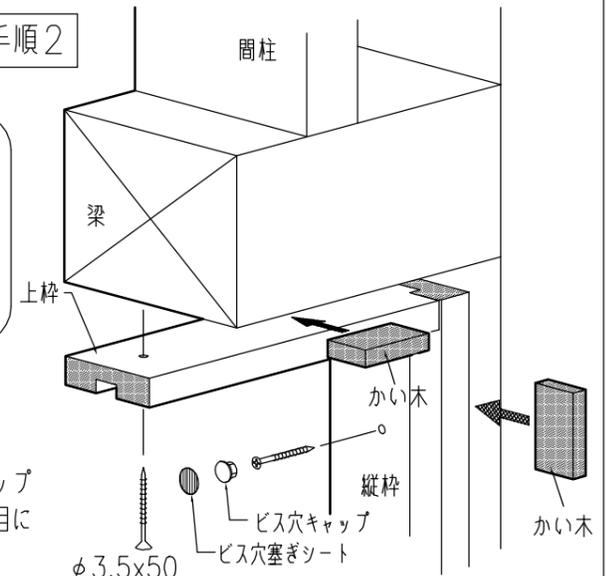
手順2

注意

下げ振り水準器等を使い確実に枠の水平垂直を出してください。枠の水平垂直が出ていないと、扉の走行不良が起きたり、枠と扉や扉と扉の間に不要な隙間が発生します。

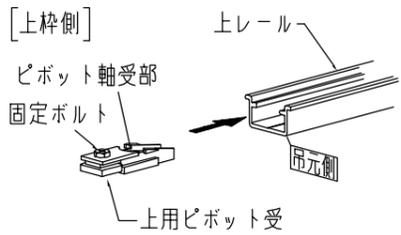
※上枠、縦枠木ネジ固定部には必ずかい木を入れてください。

縦枠木ネジ固定後、ビス穴キャップで塞ぎ、その上からシートを木目に沿って貼ってください。

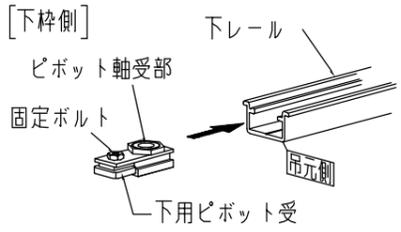


レールの取付け 手順3

上レールに上用ピボット受を差し込んでください。



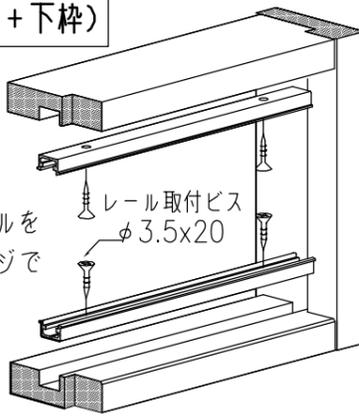
下レールに下用ピボット受を差し込んでください。



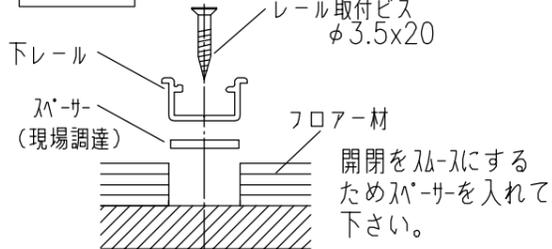
ピボット受けの向きに気を付けて挿入してください。

四方枠 (三方枠+下枠)

上枠、下枠の溝にレールをはめ込み、同梱の木ネジで固定してください。



三方枠

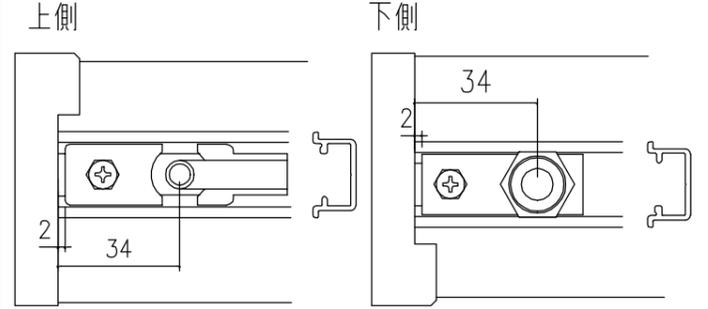


ピボット受の仮止め

マニュアル番号 MI-1223

手順4

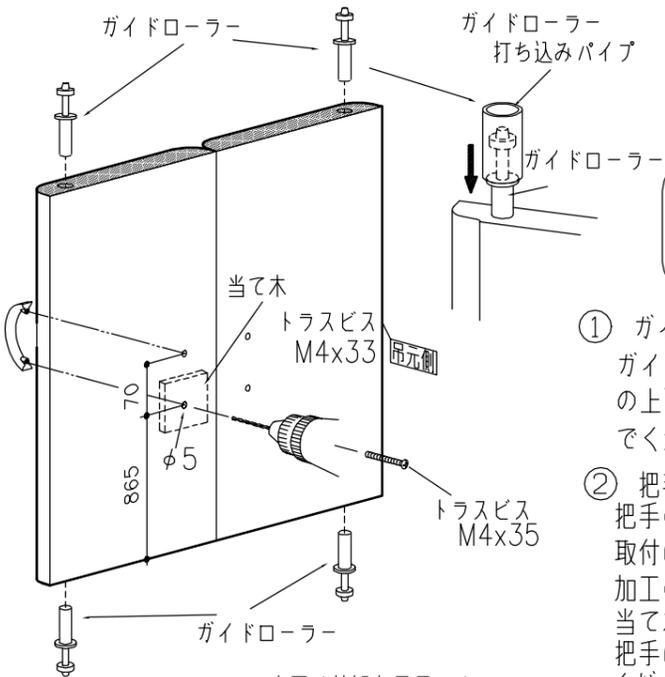
ピボット受穴が枠の端より34mmに位置するように仮止めします。



注意

レール取付け木ネジは確実に締め込んでください。ビス頭が出ていると開閉に支障が生じます。

扉の部品付け 手順5



*本図は外観左吊元です。

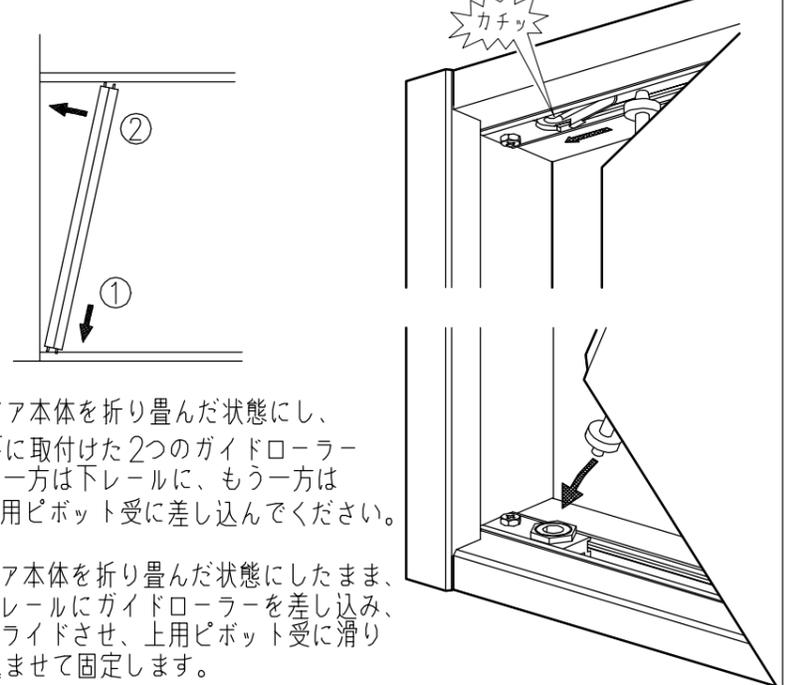
開き勝手を確認後ガイドローラー、把手を取付けます。(吊元)

注意

扉の上下に注意してください。扉の端部から865mmの位置に把手の下穴がある方が、下側になります。

- ① ガイドローラーの取付け
ガイドローラー打ち込みパイプを用いて扉の上下4ヶ所にガイドローラーを差し込んでください。
- ② 把手の取付け
把手の取付け位置を確認後、扉裏面より把手取付け側のガイド孔をφ5のキリで、半穴加工の穴を貫通させてください。(扉表側に当て木をして加工をしてください。) 把手に同梱されているビスで把手を取付けてください。

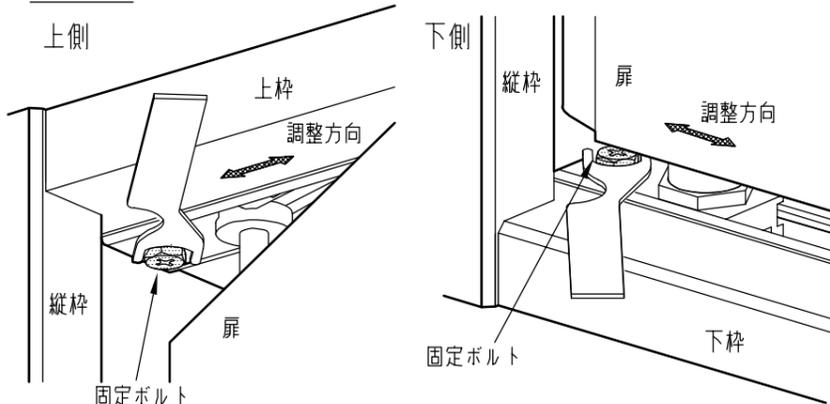
扉の吊込み 手順6



- ① ドア本体を折り畳んだ状態にし、下に取付けた2つのガイドローラーを一方は下レールに、もう一方は下用ピボット受に差し込んでください。
- ② ドア本体を折り畳んだ状態にしたまま、上レールにガイドローラーを差し込み、スライドさせ、上用ピボット受に滑り込ませて固定します。

左右、上下クリアランスの調整 手順7

左右調整



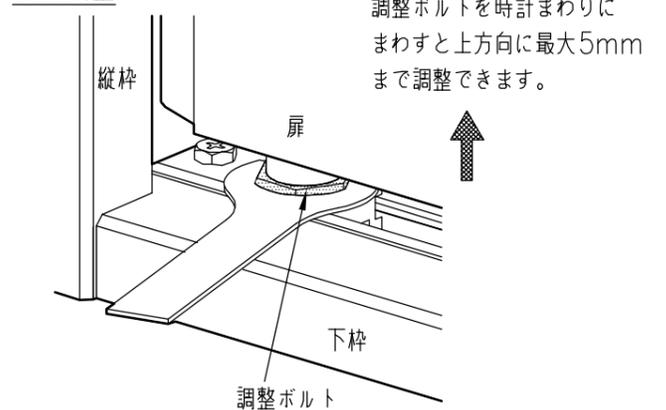
同梱のスパンで固定ボルトをゆるめ、ピボット受を左右にスライドさせて調整してください。調整後、固定ボルトを締め直してください。

注意

左右調整後は必ず固定ボルトをしっかり締めてください。吊元の軸がずれて、扉が可動できなくなったり、扉が外れる恐れがあります。

*扉の左右クリアランスは、
枠-扉の間を4mm
扉-扉の間を2mm
を標準設定としています。

上下調整

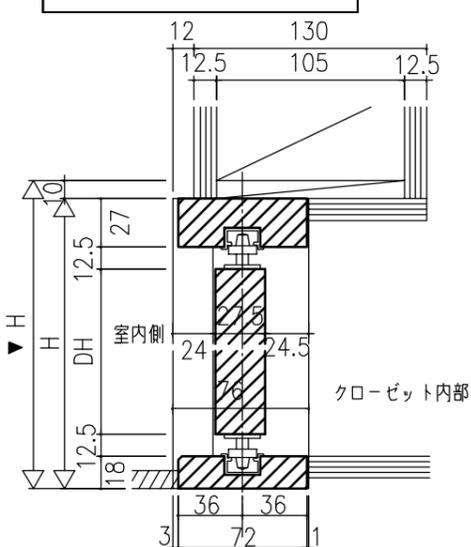


下用ピボット受けの調整ボルトを付属のスパンで左右にまわして上下調整してください。

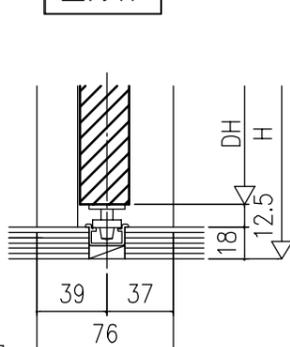
調整ボルトを時計まわりにまわすと上方向に最大5mmまで調整できます。

参考納まり図

四方枠 (三方枠+下枠)



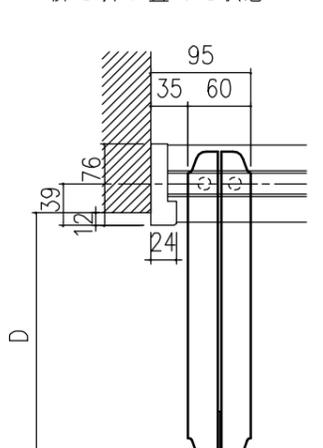
三方枠



単位:mm

		W	730	1190	1632	1680	2429	3226
H	DH	DW	690	574X2	795X2	819X2	795X3	795X4
			2040	1970	●	●	●	●
			2340	2270	●	●	●	●

扉を折り畳んだ状態



D: 扉の出寸法

単位:mm

W:07	W:12	W:16	W:24	W:33	W:17
D 288	230	340.5	352.5		